

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 5 月 30 日(2025.5.30)

【国際公開番号】WO2024/071069
【出願番号】特願 2024-549390(P2024-549390)

【国際特許分類】

H 0 5 K 3/28(2006.01)

H 0 5 K 1/02(2006.01)

H 0 1 L 23/29(2006.01)

10

【F I】

H 0 5 K 3/28 B

H 0 5 K 1/02 A

H 0 1 L 23/30 D

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 12 日(2025.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 面および該第 1 面の反対側に位置する第 2 面を有する絶縁基板と、
前記第 1 面に位置するソルダーレジストと、
を含み、

前記絶縁基板は、平面視で該絶縁基板の周縁から中央方向にかけて窪む少なくとも 1 つ
の凹部、および該凹部に沿って前記第 1 面に位置する複数の電極を含み、

前記ソルダーレジストは、前記電極を露出する開口を有し、

30

前記ソルダーレジストの周縁は、前記凹部に沿った第 1 周縁、および前記絶縁基板の前
記凹部以外の周縁に沿った第 2 周縁を含み、

前記第 1 周縁は、前記凹部の周縁と重なり、

前記第 2 周縁は、前記第 1 周縁に接続する第 1 領域を含み、

平面視において、前記第 1 領域は、前記絶縁基板の周縁よりも前記中央方向に位置して
いる、

配線基板。

【請求項 2】

平面視において、前記絶縁基板が第 1 辺を含む四角形状を有し、前記凹部が前記第 1 辺
から前記中央方向に窪んで位置しており、

40

平面視において、前記第 2 周縁の前記第 1 領域は、前記絶縁基板の前記第 1 辺よりも前
記中央方向に位置している、請求項 1 に記載の配線基板。

【請求項 3】

前記第 2 周縁に沿って露出している前記絶縁基板の前記第 1 面の算術平均粗さは、前記
ソルダーレジストの表面の算術平均粗さよりも大きい、請求項 1 に記載の配線基板。

【請求項 4】

前記複数の電極は、前記第 1 周縁の最も近くに位置する第 1 電極と、前記第 2 周縁の前
記第 1 領域の最も近くに位置する第 2 電極とを含み、

前記第 1 周縁と前記第 1 電極との第 1 距離は、前記第 2 周縁の前記第 1 領域と前記第 2
電極との第 2 距離よりも短い、請求項 1 に記載の配線基板。

50

【請求項 5】

前記第 1 距離と前記第 2 距離との差が、 $100\text{ }\mu\text{m}$ 以上である、請求項 4 に記載の配線基板。

【請求項 6】

前記第 1 領域と該第 1 領域の最も近くに位置する前記絶縁基板の周縁との第 3 距離は、前記第 1 距離よりも短い、請求項 4 に記載の配線基板。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の配線基板と、
前記凹部に位置するアダプタと、
該アダプタおよび前記絶縁基板の前記第 1 面に位置する前記複数の電極に接続している電子部品と、
を含み、
前記電子部品の下面と前記ソルダーレジストとの間に、封止樹脂が位置している、
実装構造体。

【請求項 8】

前記アダプタは、前記凹部と反対側で光コネクタと接続し、
前記絶縁基板の周縁に沿う方向において、前記第 1 領域の幅は、前記光コネクタの前記第 1 領域に対向する部分の幅よりも長い、請求項 7 に記載の実装構造体。

20

30

40

50